

# 8/1<sup>日</sup> 12R ゴールデンレーサーードリーム

初日、12Rはゴールデンレーサー6人が顔をそろえる。主役の1号艇は地元の総大将、瓜生正義(福岡)が務める。2年間Vから遠ざかっていたが、今年は住之江記念を含め2Vと復調モード。前回の71周年は2号艇で優出して6着の大敗。昨年の借りを返すべくリベンジに燃える。2号艇に指名された白井英治(山口)はSG、G1から長期離脱もあったが、23年は144勝の最多勝利を挙げ、年間タイトルに輝いた。旋回力により一層、磨きがかかっており瓜生を脅かす存在となりそうだ。昨年の芦屋オールスターでVを飾った石野貴之(大阪)も当地連続Vを目指してセンターから存在感を示す。昨年、2日目ドリームで1号艇を務めた峰竜太(佐賀)は当地周年4Vで、九州地区選を含めるとG16Vの好相性水面。コース問わない自在戦で迫る。現在、賞金ランキングのトップに立つ毒島誠(群馬)、今年4Vと近況好調の篠崎元志(福岡)も侮れない存在だ。



**1号艇** **瓜生 正義**  
3783 / 福岡 / A1

当地は通算44優出16Vと誰よりも結果を残してきた水面。昨年は芦屋オールスターで優出、前回の71周年も2号艇で優出を決めたが悔しい結果に終わった。SG11冠を誇る地元の総大将がリベンジに挑む。




**2号艇** **白井 英治**  
3897 / 山口 / A1

22年の浜名湖メモリアル優勝戦でFを切って以降、23年は一般戦中心だったが、24年から本格的にSG、G1の主戦場に復帰。今年はG17戦1優出でVはまだない。当地Vを足掛かりにグランプリ復帰を目指す。



**3号艇** **石野 貴之**  
4168 / 大阪 / A1

23年の芦屋オールスターでVを飾り、年末は勢いそのままに19年連続の2度目のグランプリ制覇を成し遂げた。通算SG11Vを挙げ、23年度のMVPにも選ばれた。当地連続のVへ照準を合わせる。



**4号艇** **峰 竜太**  
4320 / 佐賀 / A1

ボートレース界の大エースが今年もファンを魅了する。当地G1は6優出6Vで出場メンバーでは断トツの実績を誇る。71周年はタイトルこそ逃したが、2月の九州地区選でVを飾るなど、高確率Vのドル箱水面だ。



**5号艇** **毒島 誠**  
4238 / 群馬 / A1

3月の戸田クラシックは2コースからV。20年の蒲郡チャレンジカップ以来、久しぶりのSGVとなった。昨年はSG優出ゼロだったが、多摩川オールスターでも優出を決めるなど、今年は好調な滑り出しを見せる。



**6号艇** **篠崎 元志**  
4350 / 福岡 / A1

今年は特に当地での活躍が光る。九州地区選は準V、GW特選はVと連続優出でリズムも上々。当地の周年記念は11年の58回大会から6回のファイナル入りを決めていた。次こそ当地G1初Vへ期待が高まる。



**1号艇** **池田 浩二**  
3941 / 愛知 / A1

昨年の優勝は一般戦の4Vにとどまったが、SG5優出、G17優出と艇界トップクラスの旋回力は今なお健在。更に今年は東海地区選で久しぶりのG1タイトルをつかむなど、記念戦線で変わらず存在感を示している。



**2号艇** **西山 貴浩**  
4371 / 福岡 / A1

地元ファンの声援を味方にVを狙う。2月の九州地区選は予選上位突破を果たし、2号艇での優出。3月のからつでは3度目となるG1制覇を決めた。当地周年は連続優出中で、次こそ地元水面でVをもぎ取る。



**3号艇** **菊地 孝平**  
3960 / 静岡 / A1

昨年、住之江G1高松宮記念の準Vを皮切りに今年も好リズムは続く。4月の鳴門G1マスターズチャンピオンでは、コンマ02のイン速攻制でV。G1は5優出2Vで、Vを逃したG1すべてが準Vと好調そのものだ。



**4号艇** **馬場 貴也**  
4262 / 滋賀 / A1

快進撃はここから始まった。18年に開催された芦屋チャレンジカップでSG初Vを挙げてから、グランプリの常連メンバーとして名を連ねている。当地実績はSG1Vのみ。再び当地でVを挙げ後半戦に弾みをつける。



**5号艇** **茅原 悠紀**  
4418 / 岡山 / A1

71周年でVを飾った前回覇者。昨年のSGはクラシックから始まりグランプリまで6優出を決める好実績を誇る。今年はG13優出して、準Vが2回とあと一歩が多いが、当大会連覇でVロードにつなげる。



**6号艇** **羽野 直也**  
4831 / 福岡 / A1

昨年、児島オーシャンカップで5コースからまくり差してSGウイナーとなったのは記憶に新しい。昨年は14優出8Vと活躍が目立ったが、今年は2優出のみと足踏み。地元の記念を制してVラッシュにつなげる。

# 8/2<sup>日</sup> 12R 全日本王座ドリーム

2日目、12Rは昨年の芦屋オールスターでドリーム1号艇を務めた池田浩二(愛知)が再び当地の看板を張る。今年は2月の東海地区選でV、6月の蒲郡記念でもオール3連対で準Vを飾った。当地記念も61、62周年と優出を決めており、ここは手堅く逃げ切る。地元の西山貴浩(福岡)は前回の71周年で優出、九州地区選でも優出と当地G1は連続優出で地の利を発揮。また、3月の唐津ダイヤモンドカップではG1を制しており、今年はG13優出1Vとリズムも上々。菊地孝平(静岡)も近況リズムでは負けていない。今年4月は児島記念、マスターズチャンピオンとG12Vを挙げ、G15優出2Vの安定感を見せる。馬場貴也(滋賀)は多摩川オールスターで準V、住之江記念でVと直近好調。茅原悠紀(岡山)は当大会の前回覇者。グランプリV経験のある実力者が連覇を狙う。70周年優勝戦の1号艇でFに散った羽野直也(福岡)はリベンジ戦に気合を見せる。

## 『ゴールデンレーサー賞』とは

ボートレーサーとしての著しい功績をたたえるため、2019年に創設された称号。

### ゴールデンレーサー賞認定基準

- BOATRACE振興会会長賞メダルを24個以上授与されたボートレーサー
- GRANDE5優勝戦における、BOATRACE振興会会長賞の1着から3着までのメダルを3個以上授与されたボートレーサー
- ゴールデンレーサーとして適切な品格を保ち、他の模範となっている者

### 振興会会長賞メダル贈呈対象競走

- GRANDE5: 2014年4月以降
- マスターズチャンピオン・周年記念: 2015年4月以降
- グランドチャンピオン・オーシャンカップ・チャレンジカップ: 2020年4月以降

## 『ゴールデンレーサーードリーム戦』とは

並外れた技量、長年にわたる実績、他のボートレーサーの模範となる人格を兼ね備えたゴールデンレーサー6名による至高のレース。

### 実施条件

- ゴールデンレーサー6名が出場する周年競走初日のドリーム戦
- 出場するゴールデンレーサー6名のうち、いずれかの地元場

### 副賞の贈呈

「ゴールデンレーサーードリーム戦」の出場レーサーには、副賞として純金インゴットを贈呈する。インゴットは、「GR」ロゴが刻印された本競走専用のケースに収めて贈呈される。

贈呈内容 **1着:金40g 2着~6着:金20g** ※贈呈は完走したレーサーに限る。

**GR**  
ゴールデンレーサー  
について